

3年生学年通信

修学旅行

有田市立初島中学校
3年生学年通信
第10号
令和3年10月19日

10月13日(水)～15(金)に、令和3年度初島中学校修学旅行が行われました。コロナ禍の影響を受けて延期となっていましたが、保護者の皆様にご意見をいただきながら、南紀で二泊三日の修学旅行を実施することができました。

計画や下調べの時間も限られた中でしたが、タブレットを使ってしおり作りを行い、アドベンチャーワールドの自由行動について計画するなど、手際よく準備を進められました。

また、修学旅行の目標の一つであった「和歌山の新しい魅力を発見する」ことや、校長先生のお話にあった「自分事として捉える」ことにも意識して活動できたのではないのでしょうか。積極的に体験に取り組み、これまで知らなかった和歌山の自然や歴史に触れることができましたね。

初島中学校三年生全員で修学旅行を実施することができたこと、この三日間、大きな怪我や事故無く全員無事に行ってこられたことが本当に良かったと思います。楽しい思い出を胸に、残りの5カ月、自分の将来に目を向けて取り組んでいく活力にしましょう。

みなさんの感想を紹介していきます！

まずは第一弾！

「南紀熊野ジオパークセンター」、「串本海中公園」です！

・初中にも絵が飾られている橋杭岩について、その成り立ちと利用され方についてジオパークセンターで学びました。成り立ちの言い伝えとその正体が紹介されていて面白かったです。

・ジオパークで南紀のことだけでなく有名な場所についていねいにお話をしてくれたり、地震のことについて教えてくれたりした。

・串本海中公園で、普段見えないバックヤードを見ることができました。エビの脱皮した殻やウミガメの赤ちゃんがかわいかったしすごかったです。ウミガメの赤ちゃんは大きさによって水槽が違ったのでお世話が難しそうでした。

・水族館で生き物を大切にしないといけないと思った。ウミガメに餌をあげるのがとても楽しかったです。

・いままで触れ合ったことのない海の生き物たちと触れ合うことができるととても新鮮だった。

・ほかの水族館と違い、水槽の水は海の水をくんで使っていることがわかりました。台風の際は海も濁るように、水槽も濁ってしまうのがデメリットだそうです。

・串本の魚を使っていると聞き、和歌山にもいろんな魚がいることがわかった。



南紀熊野ジオパークセンター



望楼の芝にて昼食



串本海中公園

